

第2005回埼玉県教育委員会定例会議事録

- 1 日 時 令和7年5月8日（木） 午前10時開会
午前10時23分終了
- 2 場 所 埼玉県教育局教育委員会室
- 3 出席者 日吉教育長、坂東教育長職務代理者、小林委員、首藤委員、櫻井委員、今井委員、佐藤副教育長、小谷野教育総務部長、田中県立学校部長、吉田市町村支援部長、案浦参事、塩崎教育総務部副部長、飯田教育総務部参事兼文化財・博物館課長
平野書記長、高久書記、三橋書記、大久保書記、星野書記、宮井書記
- 4 会議の主宰者 日吉教育長
- 5 会 議
 - (1) 前回議事録の承認
 - 全出席委員異議なく本件記載どおり承認
 - 日吉教育長が、坂東委員を議事録の署名者に指名した。
 - (2) 報告事項

博物館・美術館事業の概要について

飯田教育総務部参事兼文化財・博物館課長（提出理由、県立博物館・美術館について、令和6年度における博物館・美術館事業の実施状況、今後の取組について説明）

坂東教育長職務代理者 オンラインによる出前講座参加者数などを含めた利用者数について100万人を目指すということですが、令和6年度利用者約91万人のうち、来館されていない方の割合はどの程度だったのでしょうか。また、今後利用者数100万人を目指すに当たり、オンラインを活用することで目指していくのか、それとも実際に訪れる来館者を増やす取組により目指していくのでしょうか。次に、来館される場合は観覧料をお支払いいただいていると思いますが、

オンライン配信をしたときに観覧料を頂かないとなると、今後その部分の収支は
どうなるのか教えてください。

飯田教育総務部参事兼文化財・博物館課長 来館者と非来館者の割合についてです
が、令和6年度利用者約91万人のうち約70万人が来館者であり、多くは来館
者が占めております。今後の来館・非来館についての考えについてですが、基本
的には、是非来館していただきたいということが本音ではございますけれども、
来館していただくきっかけとするためにも、まずは興味を持っていただけるよう、
様々な形でコンテンツの情報発信をしていきたいと考えております。また、実際
に来館しなくても楽しめることも大事だと思いますので、欲張りですが、両方と
も目指したいと考えております。次に、来館されない方に対する配信についての
収支ですが、基本的にはY o u T u b eなどのSNSにより無料配信をしており
ます。配信自体にはお金が掛かりませんけれども、取材費用などのコンテンツ作
成のための経費が必要になる場合がございます。こちらにつきましては、必要に
応じて予算化するなどしながら進めてまいりたいと思います。

坂東教育長職務代理者 非来館型によっても魅力を発信していただき、実際に行っ
て現物を見ようという気持ちにつながれば、来館者も増えると思いますので、是
非両方をうまく連携して、来館される方が増えると良いと思います。ものづくり
ワークショップなどは親子が身近に楽しめるものであり、私達も一度染め物体験
をさせていただきました。これまで経験したことがなかったことを経験できたの
で、是非、幅広い年代にとって有益な内容を企画していただけると良いと思いま
す。

首藤委員 資料にあります全ての博物館・美術館を、視察したと記憶しております。
どの施設も本当にすばらしく、学芸員の方の知識や経験が本当に豊富で、博士号
を取得している学芸員も多くいらっしゃるということに驚きました。専門的な研
究も進んでおり、それを県民にフィードバックしていただくことで、県民の教育
上の学術的な水準も高くなるのではないかと思います。そのために、学芸員が自
由に研究できる時間を、それぞれの施設で確保していただきたいと思います。ま
た、それぞれの施設で職員が頑張っておりますけれども、県教育委員会としては、

例えば、同じ自然をテーマにした長瀬町にある自然の博物館を見たら、近場の寄居町にある川の博物館も見てもらうなど、全ての施設を見てほしいと思うはずです。そのためには、スタンプラリーを行う、全ての施設を回ればコバトンのぬいぐるみがもらえるなど、県教育委員会としての支援があると良いと思いますし、小・中学校の子供たちには自由研究でも使える、高校生であれば探究学習にも使える、そのような情報をもっと発信した方が良いと思います。J T Bの観光パンフレットを見ますと、近代美術館が掲載されており、社会教育施設だけではなく観光資源にもなっていると思います。以前には、NHKのプラタモリにおいて自然の博物館が放送され、それは観光資源につながっていると思います。例えば、J T Bのパンフレットに行田や嵐山にはこのような施設があるということを、積極的に取り上げてほしいというメッセージをもっと県教育委員会から出していただきたいと思います。社会教育施設であると同時に観光資源でもあり、それぞれの施設はそれぞれで頑張っておりますから、全体を盛り上げる支援を教育委員会として行っていただきたいと思います。

小林委員 私も坂東委員と首藤委員と同様ですが、いろいろな施設を見させていただき、ちょうどコロナ禍で大変な思いをされている中で、職員の方が手探りでSNSを始められて、どうしようかと一生懸命取り組まれている姿を見てきますので、このように利用者数が戻ってきたことは非常に嬉しく思いました。それと同時に、やはり通常に戻りますと、コロナ禍で新しくチャレンジして取り組んだことが、どうしても後回しになりがちになると思っています。大変だとは思いますが、せっかく始めた効果的な広報に関しては、是非頑張って続けていただきたいと思いますし、先ほど首藤委員がおっしゃった施設同士の横のつながりの部分で、それぞれの展示などをお互いに広報し合える方法がないか、そのようなところまで取り組めると、コロナ禍前よりもパワーアップした情報発信になると思います。是非、その辺りをチャレンジしていただきたいと思います。

今井委員 SNSの情報発信は、よくインスタグラムなどが利用されていると言われておりますが、恐らく博物館や近代美術館に行くときには、Googleマップが利用されていると思います。Googleマップには、Googleビジネ

プロフィールというものがあり、恐らく近代美術館はオーナー権限で多くの写真を入れていると思います。インスタグラムなどへの掲載は投稿に手間が掛かりがちだと思いますけれども、G o o g l e ビジネスプロフィールに掲載してもよい写真を入れる、イベントがあればイベント情報をマップと連動させる。そのようにしていただくと、検索した方が写真を見て行きたいと思っていただけると思いますので、G o o g l e マップの活用も考えていただけると良いと思いました。

日吉教育長 利用者数がコロナ前の水準に回復されたことは良かったと思います。

利用者数について、現在の約90万人から100万人を目指すという目標を持って取り組むことはとても重要だと思いますが、資料5ページにある今後の取組について、新たな取組とこれまでも行ってきた取組が含まれていると思います。課長にとって、目標達成に向けた注目すべき取組があれば教えていただきたいと思っています。

飯田教育総務部参事兼文化財・博物館課長 それぞれの施設が様々な努力をしながら企画をしているところでございますが、あえて付け加えるとすれば、「様々な主体と連携」の部分で、漫画雑誌コロコロコミックとの連携というものがございます。こちらは、小学館の方からお話を頂いたものでございますが、学術的な部分から見て、なかなかそのような企業との連携に少しためらいがあったような感じもいたします。今後、可能な限りそのような企業とも連携をしていければ、博物館自体の周知や、これまで取り組んでこなかったことを更に広く取り組むきっかけにもなりますので、積極的に受け入れる姿勢を持って進めていければと考えております。

日吉教育長 少し若い年齢層にも働き掛けて、是非来ていただきたいということですね。

飯田教育総務部参事兼文化財・博物館課長 そのとおりです。

(3) 次回委員会の開催予定について

5月22日（木）午前10時